

都の食文化を支える京都丹波地域の地域農業の維持と発展

京都大学大学院 エネルギー科学研究科 代表 尾形清一

京都丹波の妙楽寺地区と竹野活性化委員会の事例から

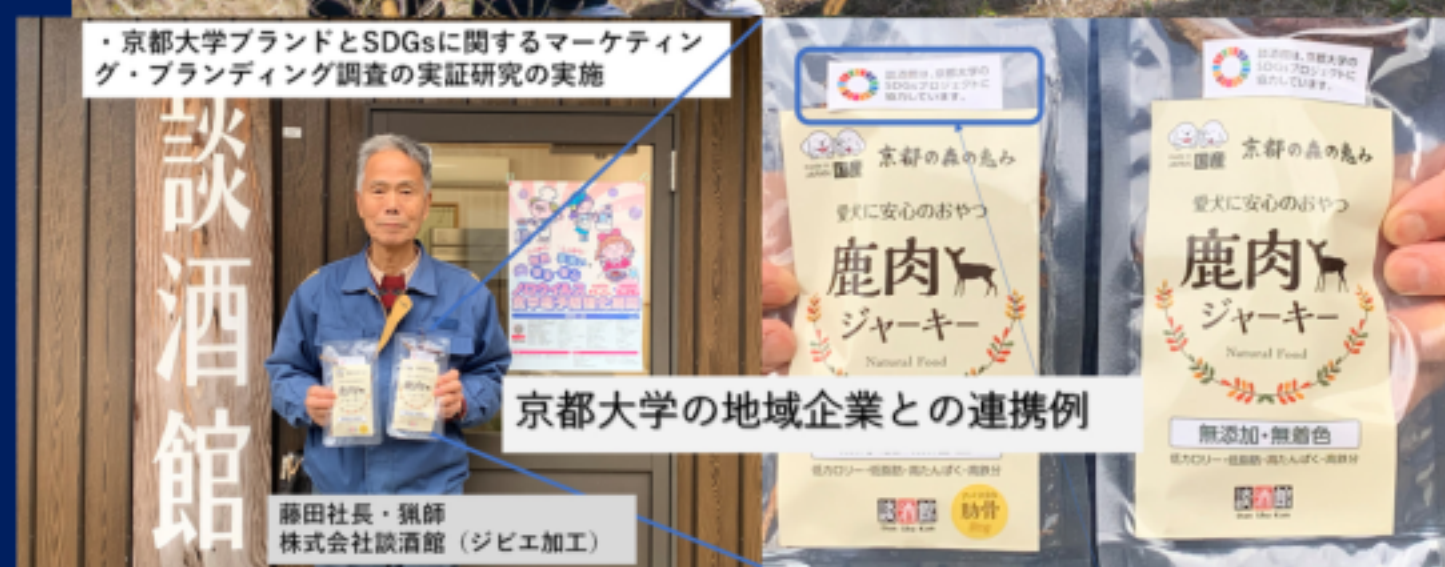
京大附属農場の実習参加者とともに地域農業の考える。

妙楽寺地区

・京都丹波の気候風土に根差したスマート農業に関する研究



・京都大学ブランドとSDGsに関するマーケティング・ブランディング調査の実証研究の実施



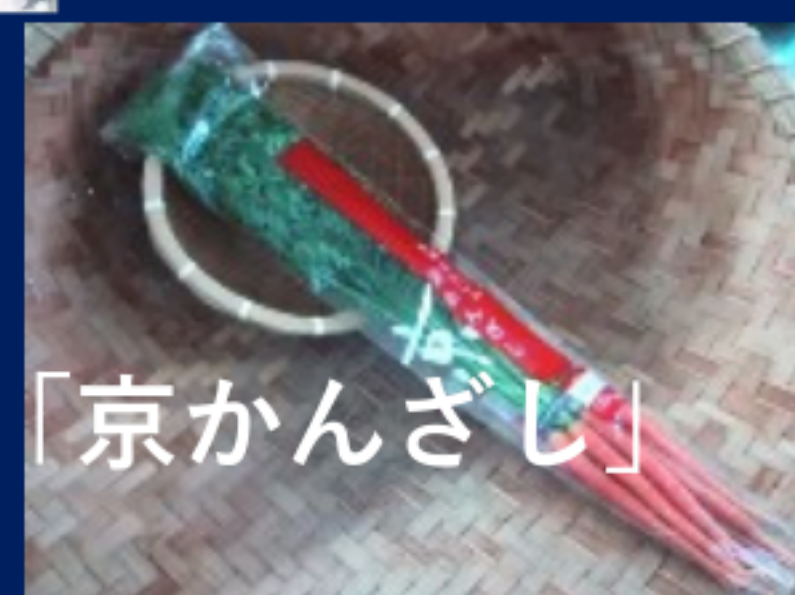
京都丹波農業文化の伝統



京野菜（京かんざし）の収穫体験と農村コミュニティの課題を把握



「京の出合」を運営する城崎氏から「京かんざし」の指導を受ける



「京かんざし」

根も葉も食べられる彩り野菜
～若どりの金時にんじん

竹野活性化委員
子育て世帯の移住が増加する稀有な地区から農村の今後を考える

竹野
明日のふるさと
京都・丹波

竹野活性化委員会

小学校を中心に据えた地域の活性化



竹野活性化委員会の中西氏からこれまでの活動と成功の秘訣を聞く

「とりあえずやろかいな」の合言葉



竹野活性化委員会の農業六次産業化
「京都・丹波やさいおいる」のバジル摘み



竹野活性化委員会の目指すもの

私たちは、先人が育んで来られた風土や取り組みを活かしつつ、「とりあえずやろかいな」を合言葉に、小学校を中心に据えた地域の活性化を図り、地域で地域の未来を考え、だれもが楽しく安心して暮らせる「竹野の里」を創ることを目指します。

竹野小学校の校長先生の指導でバジル摘みに参加する

